

健康登山80:周辺の山38 (鈴鹿 入道ヶ岳)

コース	樫大神社P 0.6km/15	登山口 1.2km/58	P498m 0.2km/16	避難小屋	分岐
	1.1km/70	北の頭 0.3km/10	入道ヶ岳 0.8km/30	避難小屋 0.2km/6	
	1.0km/35	井戸谷渡渉点 1.0km/21	樫大神社P		
水平距離	6.4km				
水平換算距離					
累計高低差	登り777m、下り777m				
標準歩行時間	4:21				
実績歩行時間	4:21				
	断面図				



山行報告

山行日 2012・11・4(日) 天候 快晴 参加者 8名

山科駅前7:00 樫大神社駐車場7:55~8:05 北尾根登山口(愛宕社)8:22 498mピーク9:21 北ノ頭10:32~10:42 入道ヶ岳(昼食)10:48~11:41 避難小屋12:11 井戸谷渡渉点13:07 樫大神社駐車場13:26~13:45 山科駅15:00

記録

好天に恵まれたことが何よりもうれしかった。2台の車に分乗して7時に山科駅前を出発、鈴鹿ICで降りて樫大神社の駐車場に1時間ほどで着いた。
 はじめに樫大神社の御神体で奥の宮が鎮座されている入道ヶ岳に表参道の北尾根コースから登ることを説明した。本殿にお参りして愛宕社のある急な石段道から登りはじめた。
 登山口から標高800mまでは斜度40%の急勾配で厳しい登りだった。そこを過ぎると三重県指定の天然記念物に指定されているアセビの群生地となり、展望も開けて気分的に楽になった。なだらかな笹原を進むと北の頭に着いた。北方向に鎌ヶ岳、御在所岳、釈迦ヶ岳が青空の下にくっきりと見えた。10分程休んで入道ヶ岳へ向った。
 山頂にはテントを張っていた若者グループをはじめ数グループが広い笹原に散らばって景色を楽しんでいた。私たちも山を見ながら1時間ほど休んで昼食をした。
 今年5月に登った野登山~仙鷄尾根~仙ヶ岳の稜線が間近に見えて懐かしく思えた。また6年前に来た時には、ここでパラグライダーをされていたことも話題になった。
 この入道ヶ岳には多くの登山道があり、下山は二本松コースをコンパスでしっかり確認して下った。旧ウオツ地図と新ウオツ地図で下山道が異なっていた。新ウオツ地図の道が正しかった。両者には一長一短があるので使い分けが必要だと思った。
 登りの北尾根、下りの二本松尾根コースには1ヶ所ずつ避難小屋があった。
 下山した辺りで母子連れの人に道を尋ねられた。井戸谷コースを登ろうとして道が分からず困っているとのこと。井戸谷は難しいので北尾根コースを登るように薦めた。
 七五三詣で賑う樫大神社の境内を通り抜けて駐車場へ戻った。
 カシ米尔で推定した標準歩行時間と実績時間がピッタリ一致したのは珍しい。

周辺の山 鈴鹿 入道ヶ岳



椿大神社に参拝
8:13

急な石段の登り
8:24



アセビの群落
10:02

入道ヶ岳へ向う
10:44



仙鷄尾根
左野登山・右仙ヶ岳
10:48

昼食風景
10:58



集合写真
背景鎌ヶ岳と御在所
11:27

山頂奥宮にて
11:33



下山開始
11:41

登山口の道標
13:07



名所・旧跡ミニガイド（周辺の山：入道ヶ岳）

参考資料 ホームページ他より

以下の内容はウィクペディア入道ヶ岳等の内容から抜粋して転記させていただきました。

概要：入道ヶ岳（にゅうどうがたけ）は、三重県鈴鹿市にある標高 906 m の山である。鈴鹿山脈に属し、鈴鹿セブンマウンテンの 1 つに数えられている。その中では比較的登りやすい山である。

山頂付近はなだらかな草地(笹原)が広がっている。山頂付近のアセビの群落は、1962 年（昭和 37 年）2 月 14 日に、三重県指定の天然記念物)に指定されている。平らな広い山頂からは、伊勢湾と御在所岳、鎌ヶ岳などの山並みを望むことができる。またこの山は椿大神社（つばきおおかみやしる）の御神体で山頂に鳥居、山頂から北西約 300m に奥の宮に祠が祭ってある。春期(5 月)と秋期(11 月)に行われる大祭で禊の終わった白装束の信者が、自然の恵みに感謝を込めるために以下の北尾根道を登って奥の宮に御参りするお祭りがある。

登山ルート：登山口は、宮妻溪谷、椿大神社、小岐須溪谷（おぎすけいこく）の 3 箇所である。それぞれ公共交通機関(バス)の便がある。バスの便は、四日市市または鈴鹿市のいずれかからである。

鈴鹿市の椿大神社からの 3 ルート

(1)北尾根

椿大神社から鍋川に沿って西に登っていくと 10 メートルほどで右手に階段（椿大神社の御神事に使う道）が見えてくるここが北尾根道の入り口となる。最後の 1/4 ほどは、景色が良いゆるやかな道である。大久保から巡視路をたどり、北尾根へ合流することもできる。

(2)二本松尾根

上記(1)を通過後鍋川に沿ってさらに西に登ると左手に少し開けたところが見えてくるこの開けた方に進むのが二本松尾根ルートである。比較的なだらかで距離はあるが登りやすいビギナー向けのルートである。小学生なども良く遠足でこのルートを登っていた。ただし登山道の景色はあまりよくない

(3)井戸ヶ谷

(2)を超えそのまままっすぐ登るルートが井戸谷ルート。最初の 1/3 は植林地の中の登り、次の 1/3 は谷川に沿った登り（小さな滝がある）最後の 1/3 は雑木林から笹の中の登りである。最後の笹の中の登りは、

急であるが、伊勢平野の眺めが良い。

四日市市の宮妻峡からの3ルート

(1)宮妻ヒュッテ駐車場の西端から内部川を横切って入る入道ヶ岳新道ルート

初めは少し急であるが比較的登りやすく登山道も広葉樹が多く景色もほかのルートに比べて良い。

(2)宮妻林道を経由するルート

自動車は進入不可。ひたすら舗装された林道を歩き最終的に入道新道に入るルートである。ただし奥の宮近くが良く崩れるため補修工事が行われていることが多くお勧めできない。

(3)奥の谷からいわくら尾根を経由して登る

(2)の宮妻林道の途中を右に入り奥の谷に沿って登りいわくら尾根に出る。いわくら尾根を左折し入道ヶ岳に至る。

小岐須溪谷からの4ルート

(1)滝ヶ谷

小岐須バス停から徒歩約20分で滝ヶ谷登山口に着く。谷に沿って上っていき、二本松尾根に合流。途中から左に折れると(2)の池ヶ谷へ出ることできる。やや道が荒れている。

(2)池ヶ谷

(1)の登山口から更に20分ほど歩くと池ヶ谷登山口に着く。前半は杉の植林地を歩き面白みは少ないが、後半は二次林の静かな谷に沿って登る雰囲気の良い道になる。頂上と奥宮の中間のくぼ地に出る。

(3)松ヶ谷

(2)より数分間歩いて大石橋を渡った林道より入る。途中までは(4)と同じ道に行く。最後はいわくら尾根に出るが、尾根の直前はややガレているので注意が必要。

(4)大岩谷

途中まで(3)と同じ。途中での分岐を左にとると大岩谷に入る。白滝を過ぎ更に登ると大岩への分岐がある。左への分岐を取ると大岩を経由して県境尾根に至るが、入道ヶ岳へは直進する。(3)と同様にいわくら尾根に出る。